



2025年4月17日

JR東日本 東北本部

日中時間帯における設備メンテナンスの実施と今後の方針について

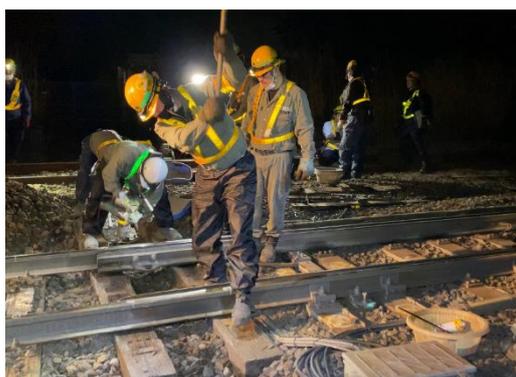
JR 東日本東北本部は、ご利用の少ない線区の一部区間で、日中時間帯に集中的に作業を行う設備メンテナンスを実施しています。今年度も5月に4線区で実施する予定です。これにより、鉄道作業従事者の働き方改革や環境改善を図り、サステナブルな設備の維持管理を目指します。

今後も生産年齢人口の減少に伴い、鉄道作業従事者の減少が予想されるため、準備が整えば実施線区・区間の拡大や実施頻度の引き上げを図っていく方針です。

1 日中時間帯における設備メンテナンスの必要性について

(1) 夜間作業の課題

夜間作業は暗い時間帯で行われるため、作業の安全性に課題があります。また、就寝時間帯の作業となることから、周辺環境にも影響を及ぼす課題があります。



暗い時間帯での作業



大型機械による作業

(2) 鉄道作業従事者の減少

近年、鉄道作業従事者の数が減少し、高齢化も進行しています。この背景には、生産年齢人口の減少に加え、若年層が夜間作業を敬遠し、鉄道作業を就業先として選ばないことが考えられます。

2 日中時間帯における設備メンテナンスの実績と効果について

(1) これまでの実績

東北本部管内では、2021年度より開始し8線区で実施してきました。

日中時間帯における設備メンテナンスの実績

線区	区間	年度別実施日数				
		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度※1
石巻線	石巻～女川	—	—	—	3日	5日
気仙沼線	前谷地～柳津	—	—	5日	3日	5日
奥羽本線	新庄～院内 (現在運休中)	8日	—	8日	—	—
米坂線	米沢～今泉	—	—	7日	5日	5日
左沢線	寒河江～左沢	15日	12日	5日	4日	5日
陸羽東線	鳴子温泉～新庄 (現在運休中)	7日	11日	8日	4日	—
磐越東線	いわき～小野新町	13日	—	—	—	—
只見線	西若松～会津坂下	—	17日	—	—	—
	会津坂下～会津川口	12日	32日	5日※2	—	—
	只見～大白川	32日	52日	—	—	—

※1 2025年度は5月に実施予定

※2 日中時間帯だけでなく5日間終日列車を運休し、トンネル修繕工事を実施

(2) 効果について

作業を日中時間帯に行うことで、安全かつ効率的に進めることができます。また、重機による作業も周辺環境に影響が少ない時間帯で実施することができます。



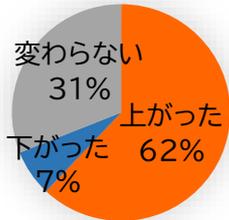
明るい箇所での作業



周辺環境に影響が少ない時間帯での重機作業

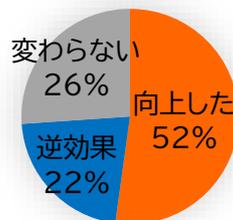
鉄道作業従事者にアンケート（2024年度）を行ったところ、作業の環境改善に対して概ね良好な結果が得られました。

作業安全性の評価



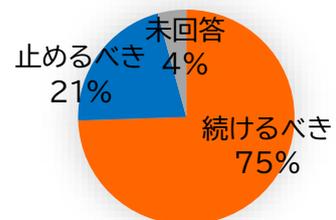
施工会社:29人

働き方改革の評価



施工会社:29人
JR社員:17人

日中時間帯作業の継続に対する評価



施工会社:29人
JR社員:18人

日中時間帯作業実施後のアンケート（2024年度）

3 今後の方針について

日中時間帯に作業を行うことでより安全性が確保され、鉄道作業従事者からの評価も高いため、サステナブルな設備の維持管理を目指して、今年度以降も日中時間帯の設備メンテナンスを継続的に実施します。

今後も生産年齢人口の減少に伴い、鉄道作業従事者のさらなる減少が予想されるため、準備が整えば実施線区・区間の拡大や実施頻度の引き上げを図っていく方針です。

【現在】

ご利用の少ない線区の一部区間で実施



【今後】

実施線区・区間の拡大や実施頻度の引き上げ
(ご利用の多い線区においても検討)